

生徒会プロローグ(3月第3週)

令和7年3月16日(月)

私にとってこの1年間は、自分自身が大きく成長できたと感じる一年間でした。私の成長のきっかけに「挑戦」があると思います。そこで、今日は「挑戦すること」について話したいと思います。誰もが知っているであろう発明家のエジソンは、電球を発明するまでに何度も何度も失敗しました。その時、彼はこんな言葉を言ったと言われていたと言われています。「私は失敗したのではない。うまくいかない方法を1万通り見つけたただけだ」。この言葉から、エジソンは失敗をただの失敗と考えていないことが分かります。ふつうなら「失敗した」と思ってしまう出来事も、エジソンは成功に近づくための一つの経験だと考えていたのです。実は私もこの一年間で新しいことに挑戦しました。例えば、英語スピーチコンテストに出たり、生徒会選挙に立候補したりしました。どちらも最初は勇気が必要でもちろん不安もありましたが、様々な挑戦が自分にとって大きな自信や成長につながったと確信しているので、本当に挑戦してよかったと思っています。このように、挑戦してみても初めて見える景色や、得られる色々な経験をしてきたと思うので、その経験や学びを、次の新しいクラスや行事などで、ぜひ生かしていきましょう。

令和7年3月17日(火)

今年度は、皆さんにとってどんな1年間でしたか?何か思い出に残っていることはありますか?私の今年度1番の思い出は、東中祭でした。例年と違った形で行われた東中祭は、実際に行って練習するが通用せず、全員がぶっつけ本番で精一杯パフォーマンスをしました。合唱もカテゴリー活動も成功させようと練習に励んでいた皆さんの姿を今でも覚えています。東中生は逆境に強い。そう感じた瞬間でした。そんな私たちもうすぐ通級します。2年生は最高学年に、1年生は先輩になります。楽しみと同時に不安もたくさんあると思います。私も自分たちの代から受験の制度が変わるなど不安なことがあります。ですが、私たちはここで成長してきて、一緒に成長してきた仲間たちはこの学校にいます。頼もしい仲間たちに囲まれていると自然と勇気が湧いてきます。仲間と支え合って共に学び成長していく。そんな未来絵への第1歩を9:23からでも踏み出してみませんか?話はかわりますが、先日の生徒会アンケートのご協力、誠にありがとうございました。これからもみなさんに沢山意見を求めることがあると思います。これからも協力していただけると嬉しいです。

令和7年3月18日(水)

さて来週は修了式ですね。皆さんは1年間を振り返ってどのようなことを頑張りましたか。運動会などの行事や、定期テストなどの勉強。人それぞれだと思います。それらもそうですが、ぼくは「東筧の百冊」の読破を頑張れたと感じました。本は語彙を増やしたり、心を育てたりできる大切なものだと僕は考えています。ところで皆さんには「推し本」はありますか。春休みに書店や図書館などで推し本を探してみたいかどうでしょうか。いまは電子図書館というのも栃木市の図書館にもあります。紙でもスマホでも読むことには変わりありません。読むカタチにこだわらずに、じっくり好きな本を読む時間を作ってみてはいかがでしょうか。ページをめくると1000km離れた場所に住んでいる人が作者だったり、100年前に生きた人の考えがのっていたり、自分の知らない世界に出会えるかもしれません。年度が替わるこの節目の春休みに何か新しいことをしてみたいかどうでしょうか。

令和7年3月19日(木)

みなさんにとってこの1年間どんな1年間でしたか?私は「ありがとう」。が多く、みんなで協力し合えた1年間だと思います。まずは運動会だと思います。朝は雨が降っており、地面がぬかるんでいました。そのため、先生方、生徒、保護者の方々が協力し合い、運動会ができる会場にまで会場整備を行いました。最初は正直、会場整備がめんどうくさいとおもっていましたが、みんなと協力して行っているうちに、だんだん作業が楽しくなりました。そして、誰一人と嫌な顔せずむしろ会場整備を楽しんでいるように見えました。そして、東中祭は文化会館で行うという事でいつも以上に念入りに準備しました。皆はそれを当たり前のように準備をしていて、本番当時は、昨年以上に東中祭を楽しむことが私はできました。私は2つの大きな行事を通して、東中生の良さやつよみを3つ見つけました。1つ目は何に対しても真剣に取り組むことができる。2つ目はマイナスな気持ちを「楽しい」というプラスの気持ちにかえることができる。3つ目は場に応じた準備や行動ができる。この3つだと思います。もしかしたら普通と思うかもしれませんが、私はこれが普通だとは思いません。この3つは、誰でもできるわけではなく、東中生が今まで何に対しても真剣に取り組んできたからだと思います。来年も東中生の良さや強みを活かして頑張っていきたいと思います。

令和7年3月20日（金）

2025年3月20日

2025年3月20日